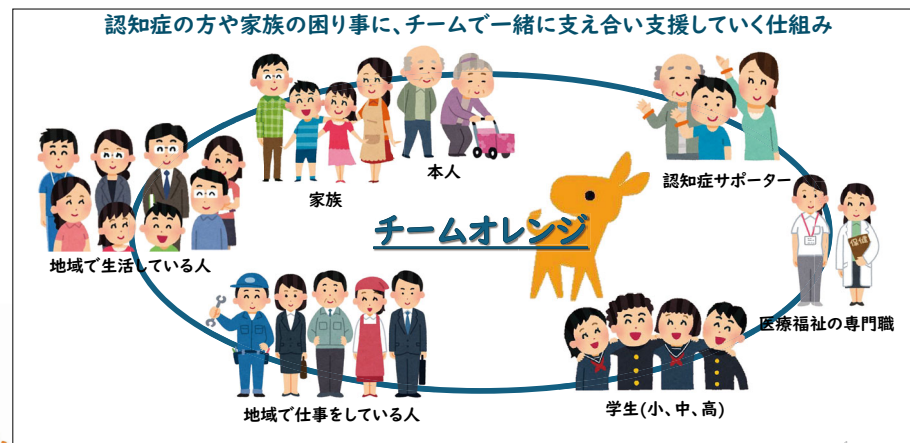


チームオレンジにしあいの活動

町では、医療や介護の専門職のほか認知症についての講義を受けた認知症サポーターの皆さんとともに、認知症になっても希望をもって生き生きと暮らしていける地域をつくるため、令和7年3月に「チームオレンジにしあい」を発足しました。「チームオレンジにしあい」は、認知症の人の悩みや不安、家族の希望に寄り添った支援を行っています。



▼交流や相談ができるオレンジカフェ



西会津小学校での

認知症サポーター養成講座 ▶

認知症サポーター養成講座はどなたでも受講出来ます。開講については相談してください。

そのほか、認知症総合支援事業として認知症に関するさまざまな取り組みを実施しています。



『新しい認知症観』を広げましょう！

「新しい認知症観」とは、`認知症=何もできなくなる`という考えではなく、認知症になってもできること・やりたいことがあり、地域で仲間とともに、希望をもって自分らしく暮らすことができるという考え方です。

誰もが認知症になる可能性があります。一人一人が自分事とらえて、誰もが暮らしやすい共生社会を作ることが大切です。



認知症地域支援推進員 ▶
青津泰平さん



【問い合わせ先】

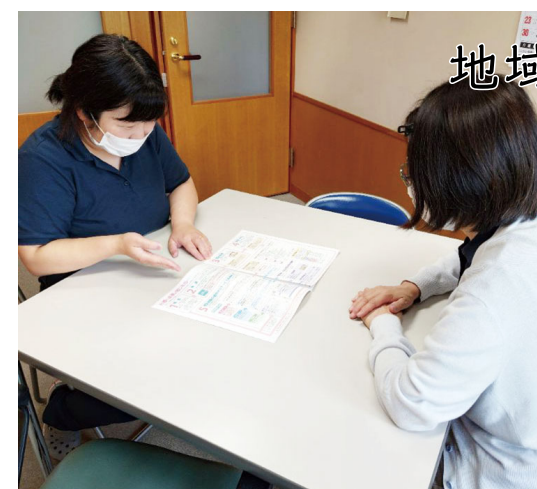
町地域包括支援センター ☎45-3327 町福祉介護課 介護係 ☎45-2214

地域包括支援センターを知っていますか？

現在、町の人口の2人に1人は65歳以上の高齢者です。地域包括支援センターは主に65歳以上の高齢者を対象に、介護・福祉・健康・医療などの面から支える総合相談窓口です。



地域包括支援センターは介護センター内にあります。



地域包括支援センターはどんなところ？

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、本人や家族、地域住民、ケアマネジャーなどから受けたさまざまな相談事を、介護・福祉・健康・医療など、適切な機関と連携して解決に努めます。

日常生活の中で、どこに相談していいかわからないときは、どんなことでも気軽に相談してください。



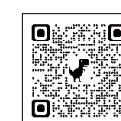
【例えば…】

- 身体が弱ってきて生活が大変
- 家族の物忘れがすすんで心配…
- 介護のサービスをすすめられたが、どこに相談すればいいのかわからない
- 訪問販売で無理やり買わされた
- 近所の人が最近外に出なくなってきた心配…
- 高齢者がいる家から、いつも怒鳴り声があるなど



【相談方法】

電話やメール、自宅への訪問・来所などで相談を受付けています。主任ケアマネジャーや保健師、社会福祉士が相談に応じます。



◀地域包括支援センターのホームページはこちら

私たちに相談してください



9月は世界アルツハイマー月間

9月21日は世界アルツハイマーデー

認知症とは、脳で起こるさまざまな原因で脳の機能が低下することにより、記憶や判断力など、認知機能に障害が起こり、日常生活に支障が出ている状態をいいます。現在日本では、65歳以上の3人に1人は何らかの認知機能に支障が出ていると推計されています。認知症は、「高齢者の病気」とわれがちですが、65歳より前に発症する若年性認知症の人も全国で3.5万人います。



▲認知症サポーターであることを示す「オレンジリング」